

# 【教育方法論】 (MB601-TC22)

[教職課程 必修科目 (配当年次: 第2学年)]

単 位: 2単位	単位認定者: 西村宗一郎
授業期間: 前期 (土1) 15 コマ	科目分担者:
授業形態: 講義 週1コマ	

科 目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目
各科目に含めることが必要な事項	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)
授業の目的	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) は、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。また、科学史を学ぶことにより科学技術の発展や、高度情報化社会の進展を理解する。
教育内容	自然科学の成り立ちから入り、理科教育の基礎としての科学の基本概念、科学の方法及び理科の教育方法について理解する。また、授業における科学史の活用、教材化についても学ぶ。
教育方法	[教育方法] 講義と質疑応答によって進める。模擬授業の実践も行う。 [フィードバック方法] 模擬授業に関しては、講義内及び個別にコメントを行う。

## 講義内容 (シラバス)

回	項 目	担当者	授業内容
1回	オリエンテーション	西村	講義のねらい、進め方について説明し、理科教育のあり方について考える。
2回	理科教育と科学の基本概念	西村	教育方法の基礎的理論と実践について学ぶ。
3回	欧米の学校教育の発達と日本の学校教育の成立 I	西村	自然界に存在する法則性を意識し、その成り立ちを自然に求めた古代ギリシャの自然学 (タレス、ピタゴラス、プラトン、アリストテレス等) について学ぶ。
4回	欧米の学校教育の発達と日本の学校教育の成立 II	西村	古代ローマの科学と中世の科学 (ヘロン、スコラ哲学等) について学ぶ。
5回	欧米の学校教育の発達と日本の学校教育の成立 III	西村	・近代科学と日本の科学の黎明と発達について理解する。 ・日本の理科教育への影響について学ぶ。
6回	科学の方法 I	西村	①科学の基本概念について学ぶ。 (科学の基本概念や科学の基本概念の形式)
7回	科学の方法 II	西村	②科学の方法を学ぶ。 基本的な科学研究と方法
8回	科学の方法 III	西村	③科学の方法を学ぶ。 理科教育の対象としての探求のプロセス
9回	理科教育の世界的思潮	西村	理科教育の主な世界的思潮について理解する。
10回	教授メディアと理科教育への活用 I	西村	教授メディアとその活用について学び、併せて、その特性について理解する。
11回	教授メディアと理科教育への活用 II	西村	コンピュータ利用の学習指導を考えるとともに、教材開発を学ぶ。
12回	教授メディアと理科教育への活用 III	西村	情報機器を活用した指導案を作成し模擬授業を行う。(中学校理科)
13回	教授メディアと理科教育への活用 IV	西村	情報機器を活用した指導案を作成し模擬授業を行う。(高校物理・化学)
14回	教授メディアと理科教育への活用 V	西村	情報機器を活用した指導案を作成し模擬授業を行う。(高校生物・地学)
15回	教授メディアと理科教育への活用 VI	西村	情報機器を活用した学習の留意点を理解するとともに、情報活用能力を育成する指導法を学ぶ。

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教育方法の基礎的理論と実践を理解している。</li> <li>2) これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現等）を理解している。</li> <li>3) 学級・生徒・教員・教室・教材など授業を構成する基礎的な要件を理解している。</li> <li>4) 学習評価の基礎的な考え方を理解している。</li> <li>5) 話し、板書等、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。</li> <li>6) 基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。</li> <li>7) 子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</li> <li>8) 子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を理解している。</li> </ol>
評価基準	提出物（50％）、模擬授業（30％）、毎回の振り返りペーパーを含む授業への取り組み状況（20％）
準備学習 (予習・復習)	【予習】（90分）事前にシラバスを熟読し、理解しておくとともに、指導法などの研究に努める。 【復習】（30分）講義内容の復習とまとめ
その他	授業への主体的な参加を期待するとともに、教職に就く者としての自覚を持ち指導力の向上に努めてもらいたい。

	(書名)	(著者名)	(出版社名)	(定価)
教科書	教科書なし（適時資料を配布する）			
参考書	中学校学習指導要領解説 理科編	文部科学省		
	高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編			
	その他の参考書・副読本等については講義の中で紹介する。			